

青春座公演「0の焦点」 5月25日(土)26日(日) 小倉北区 北九州芸術劇場

「青春座」は、戦後間もない1945年に創立された、北九州を拠点に活動する日本で最も古いアマチュア劇団の一つです。ボランティアのみんなは、郷土の作家松本清張原作の「ゼロの焦点」を演ずる公演での観客誘導やパンフレット配布などを行いました。



○ 私は普段車椅子を使って生活しているため、今回のボランティア活動に参加している他の人たちと同じ業務をこなすことはできませんでしたが、座ったままでもできる仕事をさせていただき、探せば自分でもできることがもっとあるのかもしれないと視野を広げることができました。今回参加させていただいた受付でお客さんにパンフレットを渡す作業では、公演を楽しみにしているお客さんの表情をよく見ることができ、笑顔でお礼を言うてくださる方もいて、楽しかったです。今回の参加を受け入れてくださった劇団の方からも「笑顔でお客さんに接していて、楽しそうにしてくれて良かった。」と言っただけ嬉しかったです。最後には「ありがとう。」と言っただけで、ボランティア活動へのやりがいをすごく感じました。今回の活動で経験した、相手に対して誠意をもって対応することや笑顔で接することは、今後参加する実習や私が目指している社会福祉士の仕事に活かせる貴重な経験だと思います。普段、誰かに助けられて生活している自分が誰かのために活動するという経験は今までなかなかなかったことなので、2日目が終わったときは、すごく達成感を感じることができました。 【西南女学院大学2年】

6月

ハートグローバル北九州 6月7日(金)~9日(日) 小倉北区 北九州芸術劇場

「Heart Global」には、世界中の人々に音楽を通して、希望と元気を与えるという意味が込められています。子ども達はキャストと一緒に、音楽やダンス、様々なパフォーマンスで舞台を創り上げました。青少年ボランティアは、この教育プログラムのお手伝いをしました。



○ 今回の活動先のことを全く知らず、最初は戸惑ってしまいましたが、本当に楽しかったです。日曜日の発表も観に行きました。北九州では色々な活動が行われていますが、今回の団体の皆さんは全国各地を回っており、とても規模が大きい活動にボランティアとして参加することができて、とても楽しかったです。今後は、ボランティアとしてだけでなく、自分から見つけて活動に参加してみたいと思いました。 【北九州市立大学2年】

とばた菖蒲まつり 6月9日(日) 戸畑区 夜宮公園

7000株2万本の花菖蒲を見ながらのそぞろ歩きや様々な催しを楽しむ祭りです。青少年ボランティアは、ゴミの運搬やアンケートの実施、会場整理などの運営補助を行いました。



○ 今回初めてのボランティアに参加し、積極性の大切さやコミュニティーへの関わり方の大切さを感じた。活動としてゴミ拾いが主だったが、活動中も他のボランティア参加者や来場者の方々と会話ができて、普段あまり感じる事のない地域の温かみを感じた。初対面の人達と活動すること自体初めての体験だったが、とても充実した時間を過ごすことができた。またこのようなボランティアに参加したい。 【N高校3年】

好きを子どもに 6月9日(日) 小倉北区 ミクニワールドスタジアム

子ども達が、大工さんやテレビ局、プロスポーツ選手などから実際に教わる「職業体験イベント」。青少年ボランティアは、各ブースの運営補助や子ども達の見守り、イベントの盛り上げなどの手伝いを行いました。



○ 初めてのボランティア参加で、とても緊張していましたが、笑顔で対応することで、緊張が解けていきました。子どもとの関わりの中で一人一人に合った声掛けをすることが、初めは苦手でしたが、慣れてくるとできるようになってきたので、次は最初からできるようにしていきたいです。人が多く、場をコントロールすることがとても大変でしたが、すごく良い経験になりました。

【インターナショナルアカデミー1年】



○ カフェのオーナーさんに、小さい子どもの接し方のアドバイスを自ら聞きに行ったり、周りの接し方が上手な人の真似をしたりすることによって、相手も自分も笑顔になり心に少し余裕ができた。自分以外にも4人手伝う人がいて、その人達と上手く連携できるように積極的にコミュニケーションをした。友達と一緒に参加していなかったため、緊張したが笑顔と声のトーンに気を付けて話すと自然にすることができた。お客さんの言動に常に目を光らせ、テキパキと行動し友達とも助け合えた。丁寧な言葉遣いも改めて学ぶことができた。この活動のおかげで、笑顔の大切さや臨機応変に行動すること、気遣いすることなどが身についた。私は獣医師になることが夢で、動物の命を助けることはもちろん、飼い主さんとのコミュニケーション、相手を少しでも安心させることが大切だと思っているので、とても役に立った。また参加したいと思っている。 【九州国際大学附属高校1年】

ワンコインコンサート 6月22日(土) 小倉北区 北九州芸術劇場

ワンコインコンサートは、障がいのある方もない方も、高齢の方も子ども達もみんな一緒に楽しめるコンサートです。青少年ボランティアは、障がい者の出演補助や大道具・小道具の出し入れなどのステージ補助でがんばりました。



○ 初めてのボランティア活動でしたが、全てが新鮮で全てが貴重な経験でした。私が担当したのは、入口での受付への案内でした。お客さんが入場する時間になるまでの間に、自分ができる事を探したり他のボランティアの方やスタッフの方に何かできる事があるか聞いたり、できる事を自分から探す大切さを現場で直に感じる事ができました。普段、家族や学校の先生くらいしか大人と関わっていなかった自分にとって、今回大人の方としっかりと話すことは緊張する事でもありました。多くの方がとても優しく接してくれていた中で、私達ボランティアの仕事内容について、スタッフさんの意見が分かれたことが一瞬ありました。その時に少し難しい指示を出されて、気押しされながらもしっかりと返事をし、会話ができたことはほんの少しの自信につながりました。今回のコンサートは、たくさん障がいをもった方が来ていて、そこで初めて全盲の方の対応をしました。目の見えない方の案内の仕方も分からなかったし、上手く対応することが出来ませんでした。まだ開場時間前ということもあり、すぐに対応できずに怒らせてしまいました。その時は、怒られることが普段ないからこそ怖がってしまったけど、しっかりとした配慮が必要だったと反省しこれから活かしたいです。現場でしか感じられない気持ちも経験もこれからしっかりと役立てていきたいです。

【屋久島おおぞら高校3年】